

平成26年度

なはしの よさんの はなし



那覇市

『なはしのよさんのはなし』 について



ハイサイ！（こんにちは！）

地方公共団体の予算書は、分厚く、数字だらけで、とっつきにくいといわれています。

那覇市の予算書「那覇市一般会計予算及び予算に関する説明書」は、200ページ以上にわたり、「歳入予算」や「歳出予算」が、款、項、目という区分により表示されています。予算書の内容は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然とならんでいて、市民のみなさんには少々わかりづらくなっています。

「市民との協働のまちづくり」を実践していくためには、市民のみなさんに那覇市の予算を知っていただくことが大切であると考えています。

地方財政を取り巻く環境が益々厳しさを増すなかで、「那覇市の予算」がどうなっているのかを、市民のみなさんにわかりやすくお知らせするために、「なはしのよさんのはなし」を作成しました。

「なはしのよさんのはなし」は、平成26年度の那覇市の予算について、できるだけ簡潔に表現するよう心がけました。

本冊子によって、市民のみなさんが那覇市の予算に興味を持っていただき、少しでも身近に感じていただければ幸いです。

ユタシク ウニゲー サビラ。（よろしく お願いします。）

企画財務部 財政課

わたくし
シーサーの
シシ先生がお手伝い
しますよ



※那覇市では、平成24年度から沖縄の伝統文化の継承発展を目的として、「ハイサイ・ハイタイ運動」（沖縄固有のこぼ・ウチナーグチによるあいさつの推奨、等）を推進しています。

CONTENTS（目次）

「なはしのよさんのはなし」について	1
●基礎知識編	
予算とは？ 予算の決め方は？ 予算の変更は？	2
予算のその後は？ 予算の規模は？	3
予算の必要なわけは？ 予算の使いみちは？	4
市民一人当たり行政経費及び市税負担額（一般会計）	
●収入編	5
●支出編	9
●平成26年度予算の考え方	13
●平成26年度予算の主要事業	15
●資料編	27

基礎知識編

予算についてのいろいろな「おしえて！」についてお答えします。

予算とは？

おしえて！



予算ってなんだろう？ おしえて！



予算とは、1年度間(4月から翌年の3月まで)の収入(入ってくるお金)と支出(使うお金)を前もって見積もることです。

那覇市では、新しい年度が始まる前に、その1年間で、どのぐらいの収入があるのか？そしてその1年間の行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金を見積もります。那覇市の予算書には、これから1年間のお金の使いみちが記されています。

市役所等の行政機関では、4月から翌年の3月までの1年間を年度といいます。

予算の決め方は？

おしえて！



どうやって那覇市の予算を決めるの？ おしえて！



市長が予算案をつくり、そして、市議会の審議と議決によって成立します。

那覇市役所のそれぞれの担当部局は、市民のみなさんの意見や要望を聴き、「向こう1年間の行政サービス」を検討します。市長は、各担当部局の案を自分の考えにそって予算案をまとめ、市議会に提案します。

市民を代表する市議会議員は、提案された予算案をいろいろな面から審議したうえで市議会の議決により予算を決めます。

予算の変更は？

おしえて！



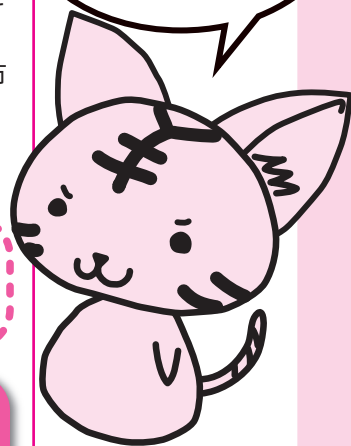
一度決めた予算は、変えることはないの？ おしえて！



変えることがあります。補正予算といいます。

市議会で決定した予算を使っていくうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起こるときがあります。例えば、台風などの自然災害により、急にお金を使わなければならないときなどは予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提案します。この予算のことを補正予算といいます。

基本は大切ですニャ！



予算のその後は？



予算を使ったあとは？ おしえて！



その年度の予算の収支の結果を決算書として作成し、報告します。

入ってくる予定のお金とそのお金の使いみちが予算でした。その予算を使った結果を決算といいます。決算では、1年間に予算の範囲内で行政サービスを行った結果をあらわしています。つまり、新しい年度が始まる前に決めた予算とその後の補正予算で見積もった収入と支出の結果(入ってきたお金と使ったお金)が決算です。決算書は会計管理者がつくり、市長が市議会の認定を受けることになります。

予算の規模は？



那覇市の予算の規模は？ おしえて！



「一般会計予算」では、1,404億5,600万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,274億865万円になります。

「一般会計予算」では、1,404億5,600万円、「特別会計予算」そして、「公営企業会計予算」をあわせると、2,274億865万円になります。

一般会計予算
1,404億5,600万円



特別会計予算
735億4,905万円



公営企業会計予算
134億360万円

一般会計とは、教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。主な収入は、市税(市民税や固定資産税など)や国・県支出金などです。

特別会計予算とは、特定の目的のための会計予算で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計予算から切り離して、その収入・支出を経理する会計のことです。那覇市には、7つの特別会計予算があります。

- ・土地区画整理事業特別会計(11億6,573万円)
- ・国民健康保険事業特別会計(440億8,562万円)
- ・市街地再開発事業特別会計(23億9,139万円)
- ・介護保険事業特別会計(225億9,604万円)
- ・後期高齢者医療特別会計(29億671万円)
- ・病院事業債管理特別会計(2億9,579万円)
- ・母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計(1億776万円)

那覇市では、水道事業及び下水道事業の2つの公営企業会計予算があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- ・水道事業会計予算(75億2,180万円)
- ・下水道事業会計予算(58億8,180万円)

※平成20年度から病院事業会計は、地方独立行政法人へ移行しました。



2,274億865万円

にせんおく…
すごい金額
ですニャ



予算の必要なわけは？

おしえて！



予算はなんのために必要なんですか？ おしえて！



行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、収入と支出の見積もりとその計画です。今後、1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要となります。

市長には、予算の執行権があります。市長が予算を作成し、議会の議決を得ることによって、市長の予算執行権を民主的にコントロールをすることができます。そのためにも予算を作成する必要があります。

予算が成立した後、予算の執行権者である市長はその責任において予算の執行を開始します。歳入における予算の執行と歳出における予算の執行とは、その性質や効力の面で異なります。歳入予算は単なる収入の見込みにすぎないので、予算額を上回る収入も可能ですし、また、予算額よりも少額の収入となることもあります。しかし、歳出予算は成立した予算の目的に従って、予算の範囲内において執行する必要があります。つまり、予算額を超えて支出することはできません。

このように予算を決めることによって、予算執行権のある市長の権限を民主的にコントロールすることが可能となります。

予算の使いみちは？

おしえて！



市民一人当たりの経費と市税の使いみちは？

市民一人当たりだと下記のような使いみちになります。
(一般会計)

市民一人当たり行政経費及び市税負担額(一般会計)

●人口(平成26年3月31日現在)	319,343人	●平成26年度市税総額	42,693,727,000円
●市民1人当たり行政経費	439,828円	●市民1人当たり市税負担額	133,692円

区 分	金額(円)
議 会 費 (議会運営のための経費)	2,623
総 務 費 (市役所の運営、広報などのための経費)	26,070
民 生 費 (福祉施設の運営、生活扶助、児童及び老人福祉などの経費)	204,738
衛 生 費 (市民の健康維持やごみ処理などの経費)	29,344
労 働 費 (雇用拡大や失業対策などに要する経費)	469
農林水産業費 (農林漁業の振興、技術の普及を図るための経費)	503
商 工 費 (商工業の振興、中小企業、観光振興のための経費)	4,530
土 木 費 (道路、橋、河川、公園などの基盤整備のための経費)	61,668
消 防 費 (市民の生命、財産を守り、災害を防ぐための消防活動経費)	14,524
教 育 費 (学校教育の充実、生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツの振興のための経費)	50,365
公 債 費 (事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金)	44,774
そ の 他	219

基礎編は
これで修了。
次は収入編です。



収入編

(一般会計予算)

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。

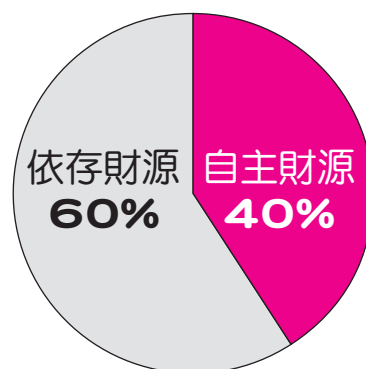
那覇市の一般会計予算（1年度間の収入）

項 目	金額（単位：千円）
市 税	みなさんが、那覇市に納める税金です。 42,693,727
分担金及び負担金など	事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。 3,612,062
使用料及び手数料など	市の施設を利用する際に支払うお金です。 4,747,307
市 債	銀行などから借金をしています。 14,863,998
繰入金	主に、基金を取り崩しています。 4,848,352
地方譲与税 地方消費税交付金など 地方交付税	みなさんが国に納める税金の一部です。 使いみちは自由です。 673,650 3,926,425
国・県支出金	みなさんが国や県に納める税金の一部です。 使いみちが決められています。 13,508,399
計	51,582,080
	140,456,000

那覇

市の一般会計予算の

- ・約**40%**が市税などの自主財源の収入です。
- ・国からの交付税などの依存財源は約**60%**です。



ここが
ポイントです



【自主財源】

市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

自主財源の比率が大きいことが大切です。

¹
20000 に置き換えて…

那覇市の**収入(歳入)**予算を家計簿に例えてみました！

那覇市の**平成26年度の一般会計予算は、1,404億5,600万円**です。数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿

(1年間の収入状況)

収入項目	金額(万円)
基本給与	213
諸手当	18
パート収入	24
銀行からの借り入れ	74
預金の取り崩し	24
親からの仕送り	91
親から特別に もらう仕送り	258
計	702

なは家の 家計簿(収入)の特徴

年間の収入は、決して低いとは言えません。

しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。

今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。

また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。

支出(歳出)予算の家計簿は、p12に掲載しています。

基礎知識編

収入編

支出編

予算の考え方

主要事業

資料編



那覇市の市税収入は、増えているの？減っているの？どっち？おしえて！



那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成24年度決算で413億2,508万円と、前年度に引き続き400億円を超え、前年度(平成23年度)に比べると、約3億7千万円増えております。また、収納率も94.3%となっており、前年度より伸びています。平成26年度予算額においても、426億9,373万円を見込んでおります。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成24年度決算では、前年度に比べ約3億7千万円増加しています。主な内訳では、固定資産税が約4億、市たばこ税が約6千万円の減となっているものの、市民税が約8億の増となっています。

また、市税の納付率については、平成18年度の91.3%から平成19年度には91.8%

平成20～21年度は、景気悪化の影響により、91.7%となり0.1%減少しましたが、平成22年度は92.3%、平成23年度は93.2%、平成24年度は94.3%となり、年々増加しています。

	収入額	納付率
平成18年度	364億5,897万円	91.3%
平成19年度	387億9,400万円	91.8%
平成20年度	396億1,958万円	91.7%
平成21年度	391億3,926万円	91.7%
平成22年度	403億1,108万円	92.3%
平成23年度	409億5,225万円	93.2%
平成24年度	413億2,508万円	94.3%
平成25年度	406億7,076万円	
平成26年度	426億9,373万円	

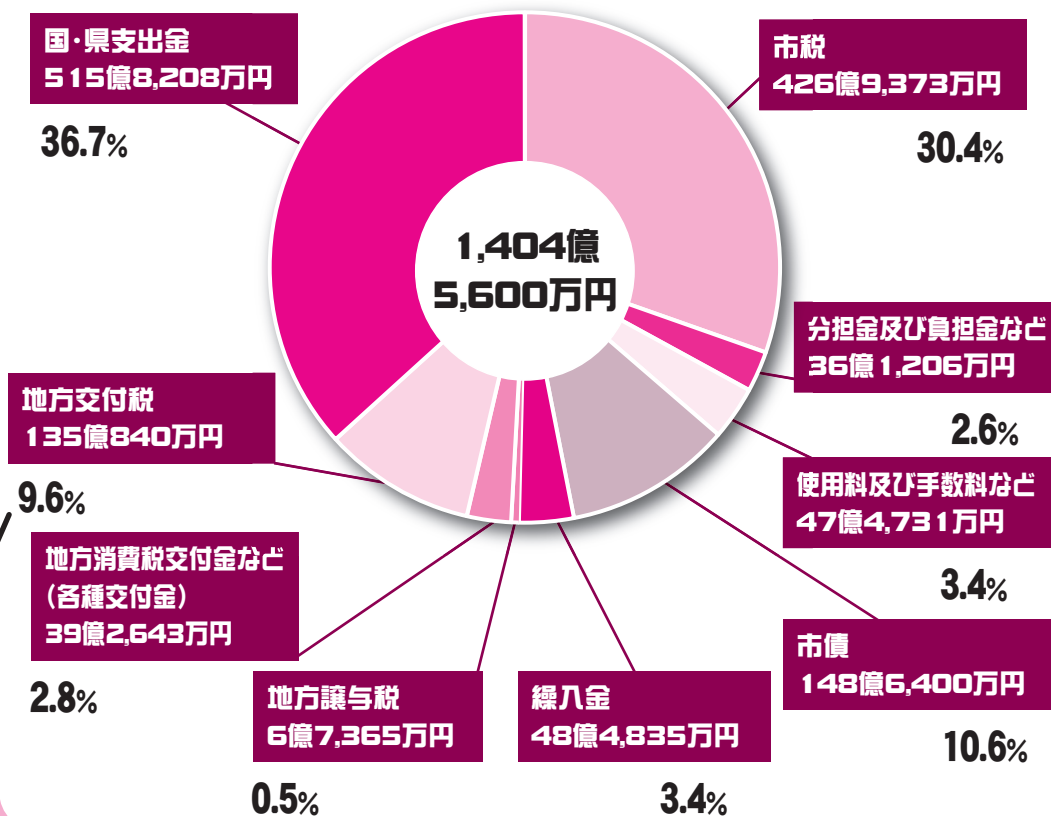
(注) 平成24年度までは決算額、平成25、26年度は予算額です。

節約って大事なのニャ



予算書では、収入のことを歳入と表現しています。
那覇市一般会計予算の歳入の特徴を説明します。

一般会計予算 歳入



収入(歳入)の内訳を
見てみよう!



国・県支出金

特定の行政目的を達成するために、当該経費にあてることを条件に交付されます。

- 国庫支出金 351億3,546万円
- 県支出金 164億4,662万円

地方交付税

国は、地方公共団体間での財源の不均衡を調整して、どの地域に住む国民にも一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障します。国税として徴収した税の一定割合を、地方公共団体の財政状況等に応じて配分します。自由に使える一般財源です。

- 普通交付税 120億2,062万円
- 特別交付税 14億8,778万円

各種交付金の内訳

- 利子割交付金 9,105万円
- 配当割交付金 4,815万円
- 株式等譲渡所得割交付金 1,377万円
- 地方消費税交付金 33億60万円
- 自動車取得税交付金 6,101万円
- 国有提供施設等所在市町村助成交付金 2億9,469万円
- 地方特例交付金 6,516万円
- 交通安全対策特別交付金 5,200万円

地方譲与税

国は、国税として徴収した特定税目の収入額を、一定の客観的な基準によって地方公共団体に譲与します。財政状況等を考慮することなく、全地方公共団体に一律の客観的な基準で配分される点で地方交付税と異なります。

- 自動車重量譲与税 3億3,278万円
- 特別とん譲与税 1,959万円
- 航空機燃料譲与税 1億7,877万円
- 地方揮発油譲与税 1億4,250万円

歳入の特徴

- ①市民のみなさんが納める税が、収入(歳入)の約30.4%です。
- ②国、県から使いみちを指定されて、特定の事業に対して交付される国・県支出金が約36.7%となっています。
- ③地方交付税は135億840万円で、昨年度に比べ約19億円の減となっていますが、その分、地方消費税交付金で約4億3千万円、国の財源不足から、交付税不足分の一部を補う措置として、臨時財政対策債(市債)が約15億7千万円増えています。
- ④その他の収入のうち、繰入金(基金の取り崩しなど)の収入は48億4,835万円で、昨年度より約14億2千万円増えています。
- ⑤市債は148億6,400万円で、臨時財政対策債や学校施設の建替え事業などにより、昨年度より約46億4千万円増えています。

市 税

● 固定資産税 204億6,417万円 土地や家屋などを所有している方が納めています。	● 個人市民税 131億8,765万円 所得などに応じて納める税です。	● 軽自動車税 5億3,948万円 軽自動車を持っている方が納めています。
	● 法人市民税 45億9,613万円 市内の会社が収益などに応じて納めています。	● 市たばこ税 30億2,732万円 タバコを買った方が納めています。
		● 事業所税 8億6,520万円 市内の会社が納めています。
		● 入湯税 1,379万円 温泉を利用した方が納めています。

市 債

地方公共団体が事業を実施するために国や金融機関などから借り入れる借入金のうち、その返済が2年度以上にわたる長期の借入金のことです。家計における借金に相当します。

- 市債 148億6,400万円

その他の収入の内訳

● 分担金及び負担金	17億9,386万円
● 財産収入	13億1,820万円
● 繰越金	5億円
● 諸収入	17億4,773万円
● 使用料及び手数料	29億9,958万円
● 繰入金	48億4,835万円

学校や
公共施設は
大事だニヤ!



借金(市債)をするのは、なぜ? おしえて!



学校などの公共施設の建設費には一度に多額の経費がかかります。その経費を調達するために借金をします。資金繰りという面もありますが、将来の市民のみなさんにも公平に負担してもらう面もあります。

市債とは、那覇市が資金調達のために負担する債務であって、その返済が一般会計年度を越えて行われるものをいいます。

那覇市(地方公共団体)の支出(歳出)は、市債以外の収入(歳入)で賄うことが原則ですが、多額な場合や将来の市民にも経費を分担させることが公平である場合などには、市債を支出(歳出)の財源とすることができます。

支出編

目的別(一般会計予算)

那覇市の支出には、福祉、教育、消防など市民の暮らしのための分野をはじめとして、都市基盤の整備や環境施策などの分野に使われています。

予算書では、支出(出ていくお金)のことを、歳出と表します。平成26年度のお金の使いみちの見積です。

いろいろな
ことに
使うんだ
ニャ～



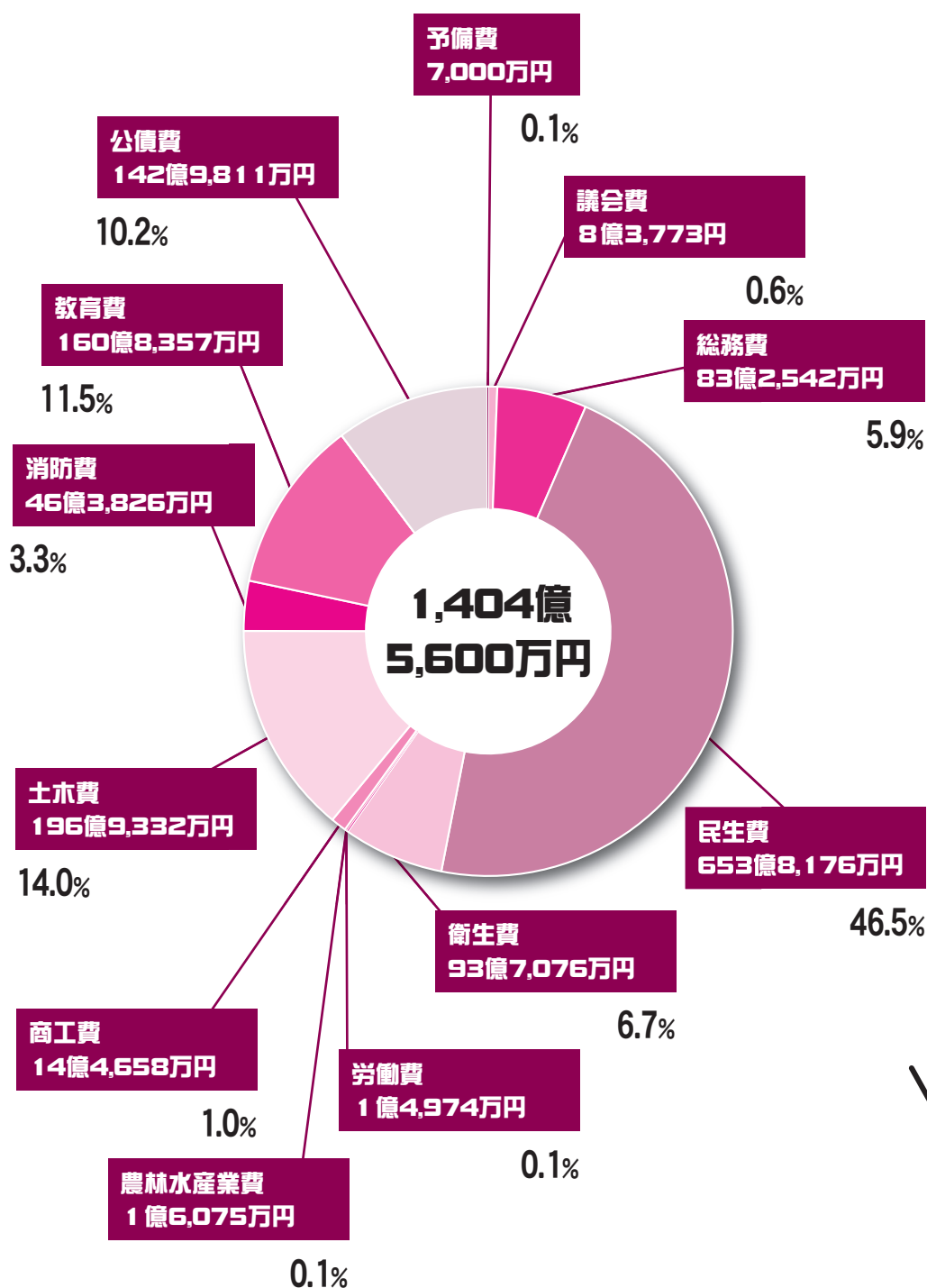
那覇市の一般会計予算(歳出)

名 称	概 要	金額(単位:千円)	割 合
議 会 費	議員の報酬や議会事務局職員の人件費、議会運営などに係る経費です。	837,732	0.6%
総 務 費	庁舎などの管理事務に関する経費、企画調整事務、財政・財務管理に要する経費のほか、市税の賦課・戸籍住民基本台帳・選挙・統計調査に係る経費です。	8,325,422	5.9%
民 生 費	社会福祉の充実を図るため、児童、老人、心身障がい者などのための社会福祉施設の整備、管理運営や生活保護などに係る経費です。	65,381,756	46.5%
衛 生 費	市民の健康を保持増進し、生活環境の改善を図るとともに、医療、公衆衛生、精神衛生などに係る経費と、ごみなどの一般廃棄物の収集・処理などに係る経費です。	9,370,764	6.7%
労 働 費	労働者の福祉向上や就労支援などに係る経費です。	149,737	0.1%
農林水産業費	農林漁業の振興、技術の普及などに係る経費です。	160,748	0.1%
商 工 費	商工業の振興と、中小企業の育成、企業誘致などに係る経費です。	1,446,583	1.0%
土 木 費	まちの基盤整備を図るため、道路、河川、住宅、公園などの各種公共施設の建設、整備を行うとともに、これらの施設の維持管理に係る経費です。	19,693,317	14.0%
消 防 費	火災、風水害、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を守り、災害の防除などに係る経費です。	4,638,262	3.3%
教 育 費	教育の振興と文化の向上を図るため、学校教育、社会教育などの教育行政に係る経費です。	16,083,568	11.5%
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により、被災した施設の復旧に係る経費です。	4	0.0%
公 債 費	事業を行うために国や金融機関などから借り入れた市債(借金)の返済金です。	14,298,106	10.2%
諸 支 出 金	支出の性質により、他の支出科目に含まれない経費をまとめた科目です。	1	0.0%
予 備 費	緊急に支出を必要とする場合のための経費です。	70,000	0.1%

計

140,456,000

なるほどニャ
民生費が約50%を
占めるんだニャ



次のページで
もっとくわしく
説明します



性質別 (一般会計予算)

支出(歳出)を別の視点から見ることができます。目的別の経費を性質ごとにまとめることで、支出の特徴を捉えることができます。

那覇市の一般会計予算 (性質別)

金額 (単位: 千円)

● 義務的経費

人件費	18,572,401
扶助費	47,140,220
公債費	14,298,106
小計	80,010,727

義務的経費

人件費、扶助費、公債費を「義務的経費」といいます。これらの費用は、毎年必ず支出しなければなりません。

- ・人件費…職員の給料などにかかる費用です。
- ・扶助費…生活保護費、障がい者支援費などの福祉や医療にかかる費用です。
- ・公債費…過去に借り入れた借金(収入の部の「市債」)の返済にかかる費用です。

● 消費的経費

物件費	13,398,465
維持補修費	455,639
補助費等	8,986,745
小計	22,840,849

消費的経費

後年度に形を残さない性質の費用です。

- ・物件費…光熱水費、消耗品費、通信運搬費などです。
- ・維持補修費…施設の維持管理のための費用です。
- ・補助費等…一部事務組合などに対する負担金などです。

● 投資的経費

普通建設事業費	23,594,763
単独	2,406,001
補助	21,188,762
災害復旧事業費	4
単独	0
補助	4
小計	23,594,767

投資的経費

幼稚園、小学校・中学校の建て替えや大規模な改築、市営住宅の建て替え、道路や公園の整備・建設など、都市基盤の整備にかかる費用です。

● その他の経費

積立金	1,433,442
投資及び出資金	62,996
貸付金	740,001
繰出金	11,703,218
予備費	70,000
小計	14,009,657

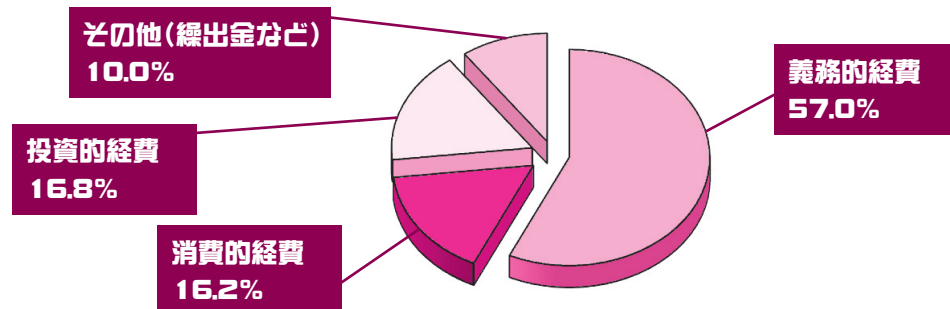
その他の経費

その他の経費には、上記以外の経費を含めています。

- ・積立金は、各種基金への積立です。
- ・繰出金は、特別会計予算などへの繰出です。
- ・予備費は、緊急に支出を必要とした場合のために予定しています。

合 計 140,456,000

割合は
こうなっ
ていま
す



¹
20000 に置き換えて…

那覇市の支出(歳出)予算を家計簿に例えてみました！

支出についても、那覇市の一般会計予算の支出(歳出)の性質別を「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな支出があり、普通の家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてつくってみました。)

なは家の家計簿	
(1年間の支出状況)	なは家の家計簿(支出)の特徴
支出項目	金額(万円)
食費(人件費)	93
医療費(扶助費)	236
光熱水費・通信費、 その他の支出(物件費など)	126
家の増改築(投資的経費)	118
子どもへの仕送り (特別会計などへの繰出金)	58
ローン返済(公債費)	71
計	702

どうしても支払わねばならない食費、医療費及びローン返済の占める割合が、全支出の57%もあります。
子どもへの仕送りもあるなかで、古くなった家の修繕も行わなければなりません。子ども達には、独立してがんばってもらいたいと考えていますが、なかなかうまくいきません。来年以降も、医療費と家の修繕は増えていくものと思われます。食費については、これからも切りつめていく努力をしなければなりません。

収入(歳入)の家計簿は、p6に記載しています。

基礎知識編

収入編

支出編

予算の考え方

主要事業

資料編

おしえて！



前年度と比べてどんな経費が増えて、
どんな経費が減っているの？ おしえて！



全体的に経費が増えています。
特に扶助費、普通建設事業費、繰出し金が増えています。

1. 「義務的経費」は、約20億3千万円の増となっています。内訳としては、人件費が約7億2千万円の減となっている一方で、扶助費が生活保護費や障害福祉サービス等給付費などの増により、約25億3千万円、公債費が約2億2千万円の増となっています。
2. 「消費的経費」は、臨時福祉給付金事業などの増により約8億5千万円の増となっています。
3. 「投資的経費」は、津波避難ビル建設事業、大名小学校校舎建設事業などにより、約78億2千万円の増となっています。
4. 「その他の経費」は、国民健康保険事業特別会計などへの繰出し金により約16億5千万円の増となっています。

扶助費が多いんです
ニャ～



平成26年度 予算の考え方



平成26年度の予算は、待機児童解消に向けた子ども政策分野の充実、沖縄振興特別推進交付金を活用し、積極的に事業を推進していくほか、国民健康保険事業特別会計の累積赤字の解消等に努めていきます。

平成26年度は、中核市1年目の経験を活かし、風格ある県都としてのさらなる発展と市民サービスの向上、そして子育て支援の充実による子どもの笑顔が輝くまちづくりに取り組んでいきたいと考えております。

ゆたさるぐとう うにげーさびら。

市政運営の基本姿勢

ハイサイ・ハイトイ運動

なーひんちかていいかな

さらに使おう ウチナーグチ！

冒頭でも使いましたが、ウチナーグチ、しまくとぅばの普及啓発という点で、本市は県を先導する取り組みを進めてまいりました。

昨今、グローバル化により、世界の均質化が進む中で、個性あふれる文化を守り育てることが大切であると考えております。我が沖縄が輝き、発展していくためにも、那覇市は、個性あふれる文化の振興を積極的に推進していかなければならないと思っております。

平成26年度は、市民が多く訪れる市民課の名称を「ハイサイ市民課」に改め、ハイサイ・ハイトイ運動推進の一環といたします。



市政運営の基本姿勢

基礎知識編

収入編

支出編

予算の考え方

主要事業

資料編

子ども達の健やかな成長のために

くわ んまがぬ たみにないるぐとう

子や孫の 為 に

本県は、復帰前の米軍施政権下での公立、認可保育所の整備の遅れという歴史的経緯と低い県民所得故（ゆえ）の共働き比率の高さもあって、潜在的待機児童が、多い状況が続いているものと推測されます。

このため、本市では、平成25年度から26年度までの間に、既存保育所の分園や園舎建て替え等により、約500人の定員増に取り組んでいくほか、平成27年度から施行される「子ども・子育て支援新制度」に対応して、新たな「那覇市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたします。

これらの取り組みによって、平成30年度当初には、本市の待機児童0（ゼロ）を目指したいと考えております。

長寿県復活をめざして

いちまでいんちゃーがんじゅう ちょーみ すいるぐとう

いつまでも健康 ご長寿で

昨年2月に厚生労働省が発表した都道府県別平均寿命で、沖縄は長寿県の地位から陥落し、大きな衝撃が走りました。

市民県民の健康を守るためにも、食事や運動といった生活習慣改善への支援などで、大人から子どもまで、生涯にわたる健康づくりに取り組むことが重要と考えております。

本市としても今後、県の21世紀ビジョン基本計画と連動させながら、特に力を入れていきたいと考えております。

市民対話と市民協働

あしがちいしーねー おめやんじゅん

焦 れ ば 物 壊 す

これまで、市民との直接対話を大事にすることで、信頼関係を築くことが重要との思いから、市民との協働によるまちづくりを、市政運営の基本方針に掲げて取り組んできました。

今後とも、地域のまちづくりについては、私自ら市民との対話の機会を設けて、しっかりとご説明申し上げて、信頼関係をもって、進めていきたいと考えております。

中核市那覇の飛躍と職引力

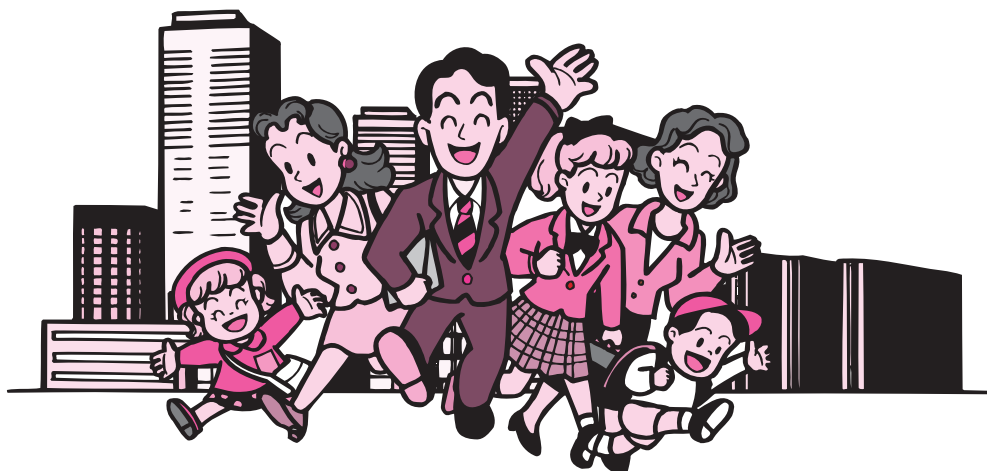
なーふあや ちゅうかくし なとーいびーん

那覇は、中核市です。

中核市移行に向けて、スピードアップ、パワーアップ、そしてレベルアップという標語を掲げ、市の行政運営、市民サービスの向上に取り組んでまいりました。

保健所の設置、中核市移行による業務の引継ぎも順調に進み、これからは中核市として自負心を持って、事業を進めなければならないものと考えております。

そのためにも、本市職員には、政策立案力をはじめとする実行力のさらなるレベルアップを期待しております。



平成26年度の主な事業を、第4次那覇市総合計画で掲げた6つの都市像に沿ってご説明します。

主要事業 ① 心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市

まちづくりの主役は市民です。多様な価値観や社会環境の中、緩やかでいて、ときには団結し、力をあわせて理想を実現していくような、市民の間の心地よいつながりで、自治・協働の平和都市を創造していきます。

協働によるまちづくり

【まちづくり協働推進課】

- **まちづくり拠点施設(仮称)開所準備事業 368万円**
まちづくり拠点施設(仮称)の開所セレモニーを実施します。また、当該拠点施設に集う様々な市民団体が、協働によるまちづくり活動を行う中で指標となる「協働ルール(案)」の策定のための講座も開催します。
- **小学校区コミュニティモデル事業 385万円**
小学校区を範囲とし、地域で活動する団体が緩やかに連携する新たな地域コミュニティの仕組みづくりに向けて、モデル事業を4地区で引き続き実施します。

● **なは市民協働大学 91万円**

市民の皆様へ協働によるまちづくりについて理解を深めていただくとともに、地域課題解決に向けた人材育成のための講座を実施します。

● **地域(防災)案内付き掲示板設置改修補助事業 5,883万円**

地域住民や観光客等の安全安心の向上及び地域の景観形成と自治会活動の活性化を図るため、防災情報に関する情報を取り込んだ沖縄らしいデザインの掲示板の設置又は改修に向け、自治会に対する補助事業を実施します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

幸せ感のあるまちの創出

【平和交流・男女参画課】

- **「思春期の心と体」のための意識啓発事業 173万円**
市立中学校生とその保護者、教職員を対象に行なわれる「思春期の心と体」のための意識啓発事業として、思春期におけるいじめ、性暴力、若年者同士のDVである「デートDV」等の問題や危険について考え、予防・解決へのヒントを提供する事を目的とする事業です。将来のDV予防に繋がるよう、早い時期から意識啓発を実施します。

【市民生活安全課】

- **那覇人権擁護委員協議会補助金 64万円**
人権が尊重され、思いやりの心あふれるまちづくりをめざして、関係団体への支援を継続してまいります。

平和交流・男女共同参画

【商工農水課】

- **沖縄駐留軍離職者対策センター補助金 50万円**
米軍基地内で働く労働者の離職者対策などを行っている沖縄駐留軍離職者対策センターへ補助を行います。

【平和交流・男女参画課】

- **那覇軍港跡地利用計画事業 522万円**
平成24年度に見直した「那覇軍港地権者等合意形成活動全体計画」に基づき、跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えることに重点を置き、「意識醸成」と「組織づくり」に取り組みます。
【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

市民に開かれた効率的な行政

【ハイサイ市民課】

- **小禄支所建設整備事業 1,785万円**
老朽化による小禄支所の建て替えについて、消防出張所との複合施設化を含め検討し、基本計画を作成します。

● **窓口業務外部委託事業 1億1,060万円**

ハイサイ市民課窓口業務の一部を民間委託し、民間の有する多様な専門性と柔軟性・ノウハウを活かし、質の高い市民サービスの提供を図ります。

主要事業 ② 地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市

市民の誰もが社会的な役割と生きがいをもって、お互いに支えあい、充実した暮らしを実現することのできる健康都市をめざします。

健康づくりと地域医療の充実

〔保健所 健康増進課〕

●健康増進事業(健康づくり) 1,425万円

生涯を通じた健康づくりを支援するため、働き盛り世代の課題である生活習慣病、メンタルヘルス、受動喫煙防止対策等の課題を関係機関が共有し連携して対策に取り組むとともに、保健師・栄養士等による成人の健康相談・教育及び訪問指導も行います。また、市民の健康管理能力の向上と健康づくりを支える環境整備など、実効性のある第2次「健康なは21」の策定作業に取りかかります。

●食の健康づくり事業 783万円

外食産業講習会、外食アドバイザー派遣、健康づくり協力店の認証事業を行うほか、食生活改善推進員の保健ボランティアを養成・育成して、市民と協働の健康づくりを展開します。

●生活習慣病重点対策事業 249万円

社会保障費の増加の原因である生活習慣病の発症と重症化予防対策として、糖尿病予防戦略事業、たばこ対策促進事業、慢性腎臓病予防啓発事業に取り組めます。

●歯科保健予防対策事業 1,033万円

モデル地区を設定し、まちづくり協議会等の協力のもと、地区内の児童生徒や、保護者、地域住民に対して歯みがき教室やフッ化物洗口等の総合的な健康づくりを実施することによって、効果的な虫歯予防や歯科保健の推進を図ります。また、那覇市在住の妊婦に対し歯科健診を実施します。

●感染症予防事業費 847万円

感染症の発生予防及びまん延防止を目的として、関係機関と緊密に連携して総合的な対策を行うほか、全国規模で収集された情報により、感染症流行情報を迅速に解析還元し、有効かつ的確な感染症予防対策を図ります。感染症発生動向調査の他、肝炎検査相談、HIV・性感染症検査相談、風しん抗体検査相談を保健所において無料で実施します。

〔市民スポーツ課〕

●那覇市健康ウォーキング推進事業 330万円

本県の平均寿命が女性3位、男性30位に陥落した330ショックを克服し、健康・長寿おきなわを取り戻すために、ウォーキングを推進し市民の健康づくりに取り組めます。その一環として「那覇市健康ウォーキング大会」を開催します。

〔保健所 地域保健課〕

●「健やか親子なは」評価・新規作成事業

528万円

那覇市母子保健計画「健やか親子なは」の最終年度にあたるため、市民・地域・関係機関等が連携し、一体となって「親と子が地域の中でいきいきと健やかな生活ができること」を目指す10カ年計画を策定します。

●自殺予防対策事業

87万円

地域の自殺企図者や未遂者の実情を踏まえ、広報啓発事業や医療機関等との連携強化と相談体制の充実により、地域の自殺予防対応力の向上に力を入れてまいります。

〔特定健診課〕

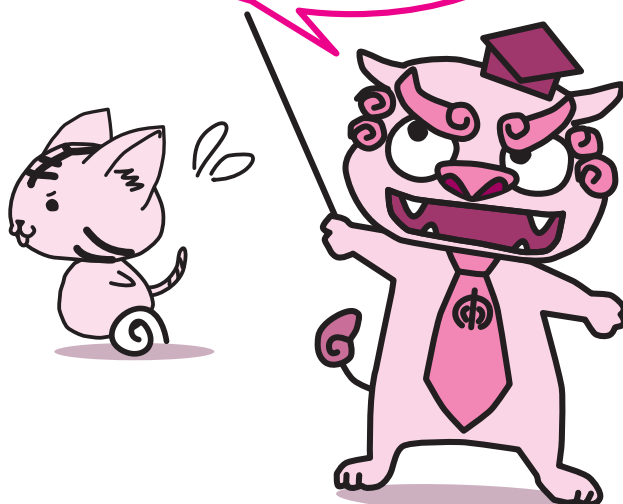
●生活習慣病重症化予防事業

1,577万円

国保加入者と協会健保の被扶養者で、特定健診を受け特定保健指導以外に分類された者の内、要医療者と治療中で生活習慣病のコントロールが不良等の方に対し、重症化予防を目的として保健指導を実施し、医療費の適正化を図ります。また、重症化予防の保健指導を通して、かかりつけ医や専門医との連携体制を強化します。

〔沖縄振興特別推進交付金活用事業〕

日頃の
運動不足にも
気をつけましょう



ユニバーサルデザインのまちづくり

【障がい福祉課】

●「なは障がい者プラン」の策定事業 237万円

平成25年度の国の「障害者基本計画」の改定及び障がい者に係る制度の集中的改革を踏まえて、平成27年度を始期とする障がい者プランを策定します。

●発達支援事業 1,351万円

発達障がい児に対して、保育所、幼稚園、小中学校等の現場において、ライフステージに沿った支援方法を探り、支援していくことを継続して実施します。

●発達障がい者地域生活支援事業 994万円

発達障がい者本人または、家族等関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行います。

●パーキングパーミット交付事業 26万円

身体障害者用の駐車スペースの適正な利用を促進するため、利用対象となる障がいのある方に利用認定証を交付し、車に掲示してもらうことによって、当該駐車場を利用できる者であることを明らかにしながら、本来必要としている障がいのある方の駐車スペースの確保を図ります。

ともに生きる心を育てる

【福祉政策課】

●地域福祉計画策定事業 221万円

地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項、地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関する事項並びに地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関する事項など市民の福祉ニーズを集約し、地域福祉計画を策定します。

●法人後見推進事業 195万円

認知症、知的障がい、精神障がい等により、判断能力が不十分または欠けているため、成年後見制度が必要な市民が、個人による後見では対応が困難であると思われる場合において、社会福祉協議会が法人組織としての後見を実施します。

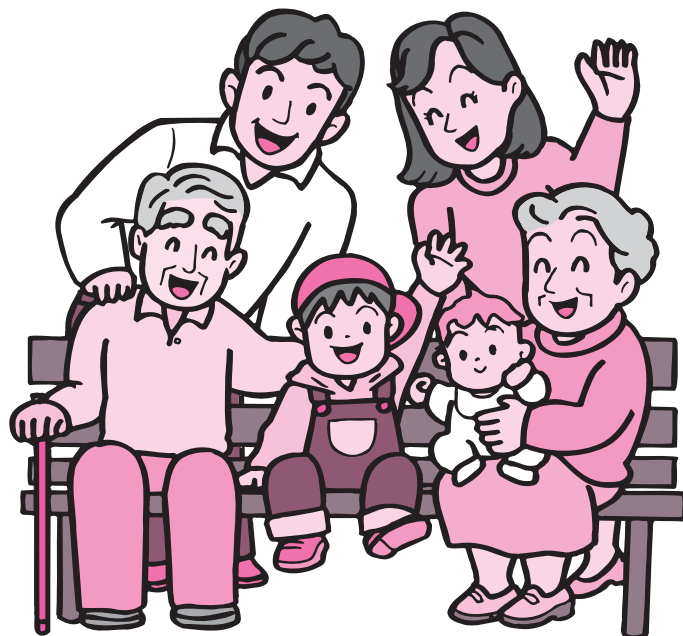
●安全生活基盤整備事業 4,772万円

住民参加による地域づくりを通じて、誰もが安心して生活できるよう孤立防止のための地域の実態把握と支援、社会と繋がりを持ち地域への参加を促進するための居場所づくり、日常生活を円滑に営むための見守りやちょっとした困り事等の基本的な生活支援などの地域基盤整備をします。

●バリアフリー改装補助事業 492万円

戦後急速に発展した那覇の中心市街地のトイレ不足は大きな観光都市那覇の課題になっており、中でも車イス用トイレが不足している状況であります。観光地である中心商店街を含め市内の店舗等のトイレ部分の改装や出入口の改装を促進を図るため改装費用の一部の補助するバリアフリー改装補助事業を新たに実施いたします。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】



地域の支えあい

〔チャーがんじゅう課〕

● 介護相談員派遣事業補助金 100万円

介護施設利用者の相談等に対応する、ボランティアの介護相談員の派遣事業を継続して実施します。

〔保護管理課〕

● ホームレス支援推進事業 1,233万円

ホームレス巡回指導員を配置し市内のホームレスを把握すると同時に、生活医療等の相談をとあして社会的自立を支援します。また、自立を希望するホームレスには、緊急一時宿泊施設にて食事や寝所を提供して就労等の支援を行います。

● 生活保護世帯日常金銭管理支援事業

1,542万円

被保護世帯のうち、日常生活における金銭管理等に不安がある世帯に対しその支援を行うことで、安心して自立した生活が送れるよう支援します。

自立を支援するサービス提供

〔保護管理課〕

● 住宅支援給付事業 9,823万円

就労意欲はあるものの、解雇、離職等によって住居を喪失する恐れのある市民に対して、住宅手当を給付するとともに、就労支援を行って生活の建て直しを応援します。

〔障がい福祉課〕

● 障害福祉サービス等給付費 66億363万円

障がい者が地域で自立できるよう、就労支援や、身体的な介護、生活訓練などの障害福祉サービスを引き続き提供してまいります。

● 重度心身障害者医療費等助成事業

6億2,700万円

重度の身体障がい者及び知的障がい者の医療費等の自己負担金に対する助成を継続いたします。

〔チャーがんじゅう課〕

● チャーがんじゅうポイント制度 100万円

高齢者がボランティア活動を通じて地域に貢献することを奨励し、高齢者自身の生きがいづくりと社会参加を通じた介護予防を推進します。

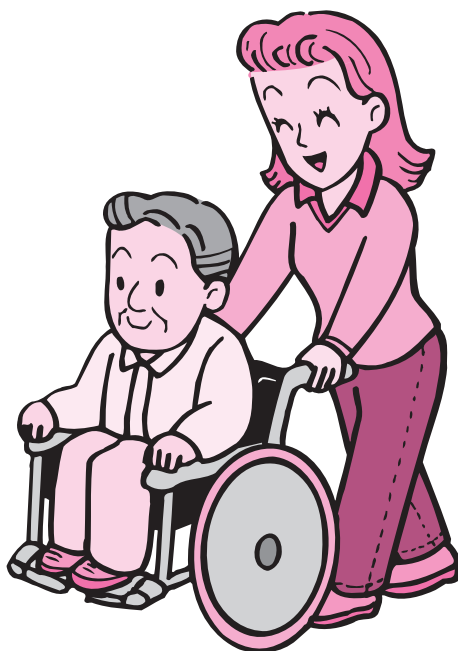
● 障がい者就労支援事業

970万円

障がい者の就職を支援するとともに、職場定着に向けた支援を継続いたします。

● 高齢者公共交通割引制度 421万円

那覇市在住の70歳以上の高齢者に外出の機会や積極的な社会参加を促すため、土・日・祝祭日(慰霊の日を含む)にモノレール各駅窓口で販売されている「がんじゅう一日乗車券」の一部補助を行います。



主要事業 ③ 人・自然・地球にやさしい環境共生都市

地球温暖化がもたらす異常気象は人類への警鐘です。すべての市民が日常生活の中でも地球環境への影響を考え、行動する、人・自然・地球にやさしい環境共生都市をめざします。

地球環境への配慮

【環境政策課】

● 住宅用太陽光発電・太陽熱利用システム導入促進助成事業 615万円

化石燃料代替エネルギーの導入促進、地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減及び環境保護の意識啓発を図る目的として、那覇市内に自らが居住する住宅に、太陽光発電、太陽熱利用システムを設置する者に対して補助を行います。

● 那覇市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定業務 600万円

地球温暖化対策の推進に関する法律により、中核市はその区域において温室効果ガス排出量の抑制等を行うための施策に関する計画(区域施策編)の策定が義務づけられていることから、平成26年度に計画を策定します。

● 緑のカーテン・屋上・壁面緑化推進事業 730万円

地球温暖化防止対策及びヒートアイランド現象緩和等を目的とした建築物緑化を推進します。緑のカーテン推進事業は、自治会や認可・認可外保育園等を対象にモデル施設を選定し、つる性植物の育成に必要な資材提供を行います。屋上・壁面緑化推進事業は、市内の建築物所有者等を対象に申請に基づき屋上・壁面緑化工事費の一部を助成します。

資源循環型社会

【廃棄物対策課】

● 資源化物持去り防止拠点回収事業 1,143万円

家庭から排出された資源化物が行政の回収前に持ち去られてしまうことを防止するために資源化物の拠点回収事業を行います。地域団体や学校団体などが主となり資源化物を一箇所に集め、行政が回収を行い、その後、回収量に応じて奨励金を交付します。

【環境保全課】

● 水資源有効利用推進事業 120万円

水資源の有効利用及び地下水かん養のため、市内の住宅で雨水・井戸水利用施設の設置者に建設補助金を交付します。事業推進のため、広報・啓発に努めるとともに、建築確認申請前に水資源有効利用・節水計画書の提出を求め、雨水の利用予定等を確認し、必要に応じ適切な措置を講じるよう指導・助言します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

自然環境の保全・再生・創造

【環境保全課】

● 生活排水対策推進事業 88万円

今後7年以上、下水道整備が見込まれない地域の生活排水対策として、単独処理浄化槽等(汲み取り便所含む。)から合併処理浄化槽への転換設置者に補助を行います。また、浄化槽設置者講習会を開催し適正管理の普及促進を図ります。

● 大気汚染防止対策事業 1,854万円

市民の健康の保護、生活環境の保全を図るため、大気汚染物質常時測定、大気汚染物質測定機器整備、有害大気汚染物質測定、工場・事業場等の監視指導等を実施します。

衛生的な環境の確保

【保健所 生活衛生課】

● 食品衛生監視指導事業 1,551万円

食の安全安心を確保するため、食品関連施設の監視指導、食品等事業者への衛生講習会の実施及び食品の検査等を行うとともに、県と連携しながら食品衛生監視員の資質の向上を図ります。

● 生活衛生監視指導事業 47万円

衛生水準の維持向上等を図るため、営業者への監視指導及び衛生講習会の開催等により営業施設に起因する事故の未然防止に取り組むとともに、県と連携しながら環境衛生監視員の資質の向上を図ります。

● 医事・薬事監視指導事業 191万円

良質な医療等の提供を図るため、病院、診療所及び薬局等の監視指導及び医薬品等の品質・有効性及び安全性の確保に取り組むとともに、県と連携しながら医療並びに薬事監視員等の資質の向上を図ります。

【環境衛生課】

● 観光客に快適な都市環境創出事業 842万円

那覇市内の観光地周辺(国際通り、牧志公設市場周辺等)に生息する飼い主のいない猫を対象に不妊去勢手術を実施し、繁殖の抑制を図ることにより、糞尿被害、道路上の轢死等の環境衛生上の問題を軽減し、観光客に快適な都市環境を創出します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

主要事業 ④ 子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市

未来の担い手である子どもたちが将来への夢を育て、その笑顔が町中にあふれ、市民が様々な価値観を認めあいながら、伝統的な文化を次代へ継承し、新たな文化を生みだしていくことのできる、ゆたかな文化都市を創ります。

生涯学習と地域の教育力の向上

【文化振興課】

● 市民会館機能強化事業 500万円

市民会館の施設を強化し、安全性、機能性、利便性の向上を図り、多種多様な実演芸術の利用に供することで会館の利用促進を図ります。

● 新文化芸術発信拠点施設整備事業 8,807万円

新文化芸術発信拠点施設(那覇新市民会館)の建設に向けて、平成26年度は敷地調査業務、基本設計業務を予定しています。
【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

子育て支援と就学前教育・保育

【こども政策課】

● 法人保育所新規等建設補助金 6 億3,592万円

園舎の安全確保、待機児童の解消を目的として、既存認可保育園の老朽化等による増改築に対し、補助金を交付します(増改築3園)。

● 預かり保育推進事業 7,037万円

預かり保育を拡充し、公立幼稚園全園で預かり保育を実施します。

● 預かり保育推進事業 (ソフト交付金) 7,943万円

預かり保育指導員の1名を午前中から配置し、園児の体調・活動の様子を把握し、午後の預かり保育へつなげ、預かり保育の充実を図ります。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 幼稚園園舎建設事業 7 億3,215万円

老朽幼稚園園舎の改築事業を行います。
・与儀幼稚園園舎(平成26年度完成予定)
・大名幼稚園園舎(平成26年度完成予定)
・城西幼稚園園舎(平成27年度完成予定)
・開南幼稚園園舎(平成27年度完成予定)

【こども政策課】

● 児童クラブ整備事業 1 億2,756万円

児童クラブ舎を建築・整備を行います。
・与儀小児童クラブ(平成26年度完成予定)
・前島・久茂地小学校統合新校児童クラブ(平成26年度完成予定)
・大名小児童クラブ(平成26年度完成予定)
・城西小児童クラブ(平成27年度完成予定)
・上間小児童クラブ(平成28年度完成予定)
・真和志小児童クラブ(平成28年度完成予定)

● 特別支援教育充実事業 6,815万円

特別支援教育ヘルパーを配置し、支援を必要とする園児が快適な幼稚園生活を送れるよう補助し、また、心理専門員によるヘルパーの巡回指導を行います。

● 特別支援教育充実事業(預かり保育) 2,413万円

預かり保育での特別支援教育ヘルパーを配置します。
【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 児童クラブ運営補助金 2 億9,508万円

放課後児童クラブへ運営費の一部を補助します。
市内放課後児童クラブ(57クラブ見込み)

【こどもみらい課】

● 認可外保育施設運営費支援事業 1 億3,853万円

潜在的待機児童を含め待機児童の適切な保護及びその解消並びに認可外保育施設に入所している児童の処遇向上を図るため、認可化を目指す認可外保育施設に対して運営費の支援を行います。

● 保育士等処遇改善臨時特例事業(安心こども基金) 1 億4,094万円

保育士等の人材確保対策推進のため、保育士等の処遇改善に取り組む保育所へ資金の交付を行います。

● ナハノホイク・保育施設情報総合サイト設置運営事業 249万円

公立・私立の認可園にとどまらず、認可外保育施設や幼稚園も含めて、市内の保育関連施設を自由に検索できる総合情報サイトを運営します。

● ナハノホイク案内人(ナビィ)設置事業(コンシェルジュ設置) 234万円

認可保育園にとどまらず認可外保育所に関する情報の提供も可能な保育施設情報相談員を設置し、保育施設を探している保護者への情報提供の充実を図ります。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 認可外保育施設の環境整備事業 5,262万円

認可外保育施設の保育環境の更なる改善を促進するため、施設改修費の一部補助及び施設の害虫防除を実施します。
【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

子どもの視点に立った環境づくり

〔教育委員会 施設課〕

● 前島・久茂地小学校統合新校整備、新校校舎増築及びプール改築等事業

5億1,382万円

統合により新たなスタートを迎える、新校「那覇小学校」の校舎の増築、水泳プールの改築、地域・学校連携施設の工事を進めています。

● 耐震化事業

26億7,185万円

老朽化した校舎・屋内運動場の改築を行います。

- ・ 大名小学校校舎（平成26年度完成予定）
- ・ 寄宮中学校校舎（平成26年度完成予定）
- ・ 城西小学校屋内運動場（平成27年度完成予定）
- ・ 真和志中学校屋内運動場（平成26年度完成予定）

● 学校施設耐震化事業(小中学校)

8,615万円

校舎等の構造耐震指標を把握するため、耐震診断を実施します。

- ・ 平成26年度 耐震診断業務委託・・・小学校6校（城東小、神原小、与儀小、城岳小、小禄小、松島小 合計17棟）
- 中学校3校（神原中、那覇中、小禄中 合計4棟）

● 天久小学校校舎増築・防音併行事業 安岡中学校校舎増築・防音併行事業

6億515万円

新都心地区の児童生徒の増加に対応して、安岡中学校、天久小学校の校舎増築並びに防音工事に着手します。

● 小中学校施設環境整備事業(冷房設置)

1億698万円

亜熱帯地域である沖縄においては、高温多湿な状況が長期間続き、児童生徒の学習環境を改善する必要があるため、小中学校の普通教室に冷房設備の設置を行います。（平成26年度は、城西小学校ほか小学校19校、石田中学校ほか中学校5校）【沖縄振興特別推進交付金活用事業】



〔教育委員会 学校教育課〕

● 特別支援教育充実事業(小・中学校)

1 億4,127万円

特別に支援を要する児童・生徒への人的支援を行うため、特別支援教育ヘルパーの派遣や臨床心理士の配置等を行います。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 那覇市小中一貫教育校推進事業

1,613万円

義務教育9年間で修了するにふさわしい学力の育成、豊かな人間性や社会性の育成、中学入学時の不安解消を図る目的から、小祿地区での小中一貫教育を本格的にスタートします。

〔教育委員会 教育研究所〕

● 情報教育研修事業

42万円

ICT活用による「わかる授業」をめざし、電子黒板などの情報機器を活用した授業づくり・情報モラル指導などの推進に向け取り組みます。

文化の継承と発展

〔文化財課〕

● 国宝「琉球国王尚家関係資料」修理事業

1,700万円

平成18年に国宝に指定された「琉球国王尚家関係資料」の展示及び公開活用を促進するため、尚家文書の修理に加え、千代金丸などの刀剣3振りの修理を行います。

● 特別展事業

518万円

平成24年度に購入した厨子資料群を調査・研究資料とともに一般公開するため、特別展を開催します。特別展開催期間中は、関連する文化講座等を実施して、本県固有の歴史・文化を県内外の方に広く発信し、伝統文化の振興発展に貢献します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】



わが国の国際的な南の玄関口として、広域的な交流・交易の拠点機能を高め、多彩な人材と多様な産業を生み出すとともに、地場産業の振興を図り、人も、まちも活力ある美しい島々の拠点、観光交流都市をめざします。

産業の振興

〔商工農水課〕

● 離島支援連携事業

4,483万円

泊港と船舶航路で結ばれた那覇市と離島5町村(座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・久米島町)の新たな地域連携事業として、那覇市民の住民福祉の向上に寄与しつつ5離島を振興支援する事業を実施します。

那覇市民が海上交通を利用して離島5町村に渡り、観光、村民との交流、豊かな海や自然とふれあう自然学習等に要する渡航費の「海上交通費」「宿泊費」を公費助成します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 那覇市農業振興事業

760万円

農業基盤が弱く、台風や長雨等の自然災害のリスクも高い本市農業の基盤強化及び振興・育成を図るため、ビニールハウス設置費及び肥料、作物出荷箱の購入経費に対して補助を行います。

● 漁港等整備事業

1,038万円

平成25年度に実施した漁港等建設可能性調査の結果を踏まえて、本市内部に検討委員会を設置し漁港等建設計画を策定します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 中小企業事業者の県外・海外向け販路拡大支援事業

1,304万円

市内の中小企業者の新規開発した商品・サービスを県外・海外に販路拡大する経費の一部を助成し、市内の事業者が、県外・海外にて商品・サービスを販売することにより、利益と雇用の増を支援します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 誘致活動サポート事業

600万円

那覇市への企業誘致を推進するため、県外で活動が可能な民間企業等に業務委託し、那覇市の誘致活動をサポートします。

● 外国人観光客受入整備事業

3,043万円

外国人観光客受入のため、国際通り周辺での案内サポートや店舗へのサポート要員の派遣等を行います。

〔観光課〕

● 観光基本計画策定事

955万円

今後10年間の那覇市観光の目指すべき姿を明らかにし、その実現に向けた施策を展開するための観光基本計画を策定します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 観光イベント等映像発信事業

1,762万円

移動式車載大型ビジョンを、クルーズ船で訪れる観光客への歓送迎及び那覇市観光情報の提供に使用し、観光資源である市のイベントで活用することで観光振興に繋がります。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

〔なはまちなか振興課〕

● 「那覇市中心市街地活性化ビジョン・基本計画」(仮称)策定基礎調査業務

982万円

市民参画による市民のための中心市街地商店街の活性化を図ることを目的に、「那覇市中心市街地の活性化に関する基本計画」を策定します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

まちの活性化

【なはまちなか振興課】

● マチグー総合案内所事業 701万円

那覇市の観光資源である中心商店街（マチグー）を訪れる観光客等来街者へ向けて、ディープなマチグー情報を提供する拠点となる「まちなか案内所」を設置運営します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 頑張るマチグー支援事業 3,000万円

中心商店街の活性化に向けた事業を行う者の創意工夫による積極的な取り組みに対して助成金による支援を行い、中心商店街の活性化を図ります。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 国際通りとマチグーのにぎわい事業 3,780万円

ひやみかちマチグー館を拠点として、中心市街地のにぎわい創出目的としたイベントなどを企画、実施し、地域の観光拠点としてのさらなる魅力向上を目標とします。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】



就労支援・相談体制

【市民生活安全課】

● 消費生活相談員等レベルアップ事業 52万円

多様化、複雑化する消費生活相談に対応するため、研修支援を行い、消費生活相談員等のレベルアップを図ります。

【商工農水課】

● 中学生のための仕事と社会について考える講座事業 516万円

中学生を対象に、将来に向けた職業観と勤労観の形成を促し、若年者の就業意識の向上につなげるため、体験・参加型のキャリア教育講座を開催します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

● 企業立地雇用施策基本指針策定事業 709万円

今後の那覇市の雇用施策を実施、展開していくための指針となる「那覇市雇用施策基本計画（仮称）」を策定します。【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

都市基盤や都市景観が、亜熱帯特有の自然や歴史、文化環境に調和した緑ゆたかな庭園のようなまちを築いていきます。誰もが安心して、楽しく歩くことのできる、魅力的で愛着のあるまちを市民とともに創っていきます。

都市防災と防犯

【市民生活安全課】

● 保安灯設置等事業補助金 2,030万円

保安灯の設置及び維持を行う団体に対し、補助金を交付します。新設・修繕・省電力型取替については1団体につき5灯以内とし、1灯あたり省電力型は上限5万円、その他は上限3万円を補助します。また、電気料相当額補助については1灯あたり省電力型は年1,680円、その他は年2,400円を補助します。

【総務課】

● 津波避難ビル建設事業 20億1,707万円

大津波襲来時に約2,000名の方が避難可能な津波避難ビルの建設に着手します。併せて、平常時利用施設として、乳幼児からお年寄りまですべての世代が寄り添い、助け合い、育み合える地域の交流事業実施のための施設整備を行います。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

【消防局 総務課】

● (仮称)小禄南出張所整備事業 4,502万円

那覇市消防力整備計画(消防署所の適正配置計画編)に基づき、(仮称)小禄南出張所を小禄支所付近に整備するため、今年度は土地購入及び基本計画を進めます。

● (仮称)樋川出張所整備事業 5,192万円

那覇市消防力整備計画(消防署所の適正配置計画編)に基づき、老朽化した松尾出張所、真和志出張所を統廃合して那覇市樋川2丁目(旧那覇市教育委員会跡地)に(仮称)樋川出張所を整備します。平成28年4月の運用開始に向けて、今年度は実施設計を行います。

【消防局 指令情報課】

● 消防救急デジタル無線整備事業 1億5,583万円

電波法の改正により、現行の消防救急無線(アナログ方式)の使用期限となっている平成28年5月31日までに、消防救急無線をデジタル方式へ整備します。

【消防局 救急課】

● 消防隊員等感染防止整備事業 144万円

救急活動に従事する消防隊員等自身の感染及び傷病者の二次感染を防止するため、新型感染防護衣を整備します。

【建築指導課】

● 那覇市民間建築物耐震化促進事業 3,673万円

建築物の耐震化を促進するため、民間住宅の耐震診断等に対する補助を継続するとともに、新たに不特定多数が利用する建築物の耐震診断に対しての補助を実施します。

市街地の整備

【建設企画課】

「那覇市市営住宅ストック総合活用計画」にもとづき、老朽化の著しい市営住宅の建替えを行います。

● 石嶺市営住宅建替事業 14億7,757万円

● 宇栄原市営住宅建替事業 12億2,229万円

● 大名市営住宅建替事業 17億8,040万円

● まちなか居住推進策検討事業 714万円

中心市街地の居住人口を増やすためニーズを把握し、まちなか居住を推進するうえでの方針案を策定します。

● 既存市営住宅集会所地域利便施設導入事業 1,050万円

既存市営住宅集会所において地域コミュニティ施設としての活用を図ります。

【地籍調査課】

● 地籍調査事業 1,037万円

土地の有効活用の促進や災害復旧の迅速化などを図るため、地籍調査を実施します。

【建築指導課】

● 狭あい道路整備事業 250万円

狭あい道路の拡幅整備を促進するため、舗装整備等への助成金等を交付し、安全で快適なまちづくりを推進します。

【市街地整備課】

● 農連市場地区市街地再開発事業(防災街区整備事業) 19億7,525万円

当事業は、中心市街地の南端に位置する農連市場を含む面積3.2ヘクタールについて、防災に関する機能の確保と、衣食住遊が融合し賑わいと交流の生まれるマチグラー空間の再生を目的とする事業です。平成26年度は、事業組合設立認可を受け、建築物の実施設計と、権利変換計画等の作成を実施します。

● モノレール旭橋駅周辺市街地再開発事業 2億4,101万円

モノレール旭橋駅の隣接地区の市街地再開発事業については、平成26年3月に事業計画の施行認可を受けバスターミナル・公共施設・商業施設・事務所等を整備します。平成26年度は実施設計、権利変換計画作成を行い、工事を一部着手します。

交通体系の整備

【道路建設課】

- **街路整備事業(公共投資交付金)** **24億7,920万円**

交通渋滞の緩和、交通安全の確保、交通アクセスの利便性、歩行空間のバリアフリー化等を図るため、都市計画道路(石嶺線外9路線)において、道路改良、用地買収及び物件補償を行います。

- **沖縄都市モノレール延長事業** **12億2,291万円**

沖縄都市モノレール延長計画総延長4.1kmのうち、延長第一駅(仮称:石嶺駅)を含む、約1.7kmのインフラ事業を実施します。平成24年度より工事着手しており、平成31年春の開業を目標に進めています。

- **歴史散歩道整備事業** **2億2,474万円**

観光客等が那覇の歴史に触れることを目的に歴史的景観を取り入れた散歩道を整備します。(設計業務、整備工事等)

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

- **バス停上屋整備事業** **8,682万円**

観光に資する主要な路線(市道)にハイグレードなバス停上屋を設置することで、観光客等が快適に公共交通機関を利用できるよう整備します。(設計業務、設置工事)

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

自然と調和したまちなみ

【都市計画課】

- **景観まちづくり推進事業** **1,127万円**

首里金城地区及び壺屋地区の都市景観形成地域内において、地域資源である石積みの個所並びに老木・巨木を抽出し、景観まちづくりにおける保全・活用の方向性等について、調査・検討を行います。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

【道路建設課】

- **首里金城町無電柱化推進事業** **5,950万円**

首里金城町は、琉球王朝以来のまちなみや多くの文化財をよく残している地区で、昔ながらの風景を保全及び創出する必要があり、電線類を地中化し、観光地の景観の向上を図り快適な歩行空間を確保します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

【花とみどり課】

- **市花木等普及推進事業(公共空間への植樹)**

500万円

那覇市の市花木であるハウオウボク、フクギ、ブーゲンビリアの植樹を普及推進することにより、那覇の緑化によるまちづくりを行います。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

【公園管理課】

- **デイゴ・リュウキュウマツ害虫対策事業**

500万円

公園内にあるデイゴや琉球松の防虫対策を実施します。

【沖縄振興特別推進交付金活用事業】

- **亜熱帯庭園都市の公園美化事業** **5,020万円**

外国人を始めとする多様な観光客を迎える快適な観光地づくりに向け、公園の公共空間において、沖縄らしい魅力的な観光地及びまりづくりのための景観強化事業のグレードアップを行います。

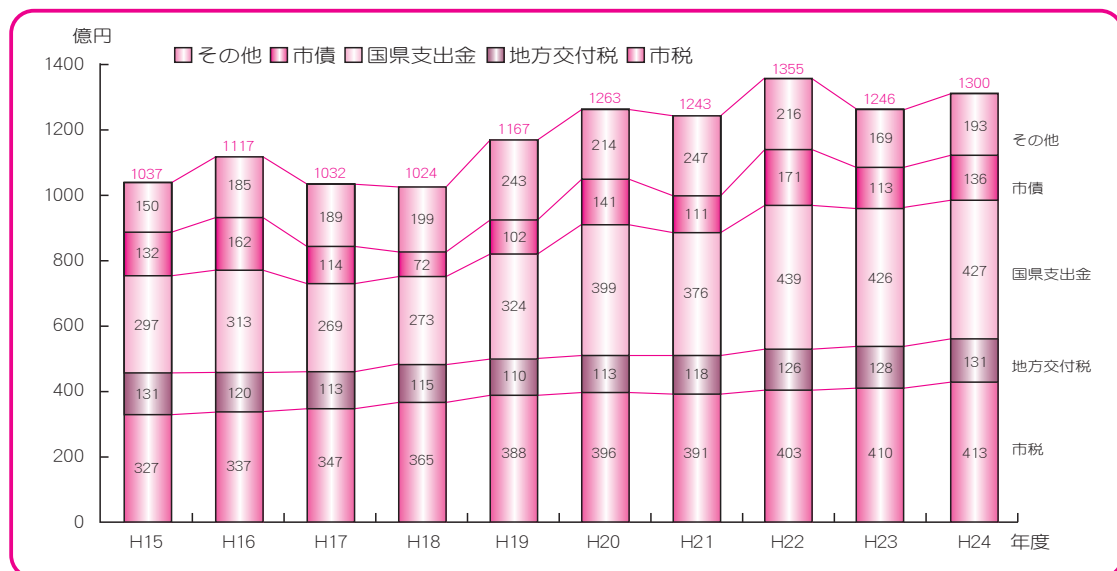
【沖縄振興特別推進交付金活用事業】



最後の
資料編へ
進みます

◆那覇市の平成15年度以降の普通会計の科目別収入の推移

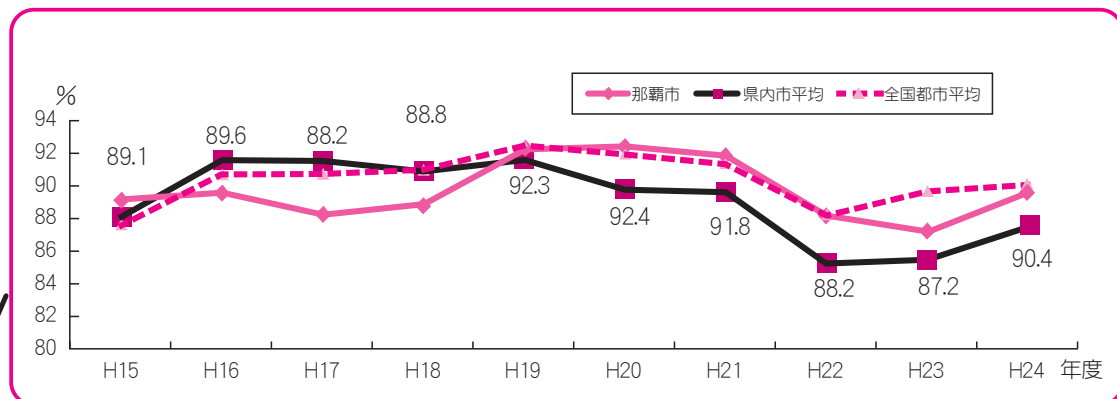
平成15年度と平成24年度を比較すると市税については、新都心地区の開発や税源移譲等が要因となって、約86億円増加しております。ほか、地方交付税や国県支出金等の全体に占める割合は、概ね同程度で推移しています。



【経常収支比率】

経常収支比率は、市税・地方交付税などの経常的な一般財源収入が、人件費・扶助費・公債費などの経常的に支出される経費に、どれだけ充てられているかを示した指標です。その団体の財政構造の弾力性を判断するものです。この比率が高いほど一般財源のほとんどが経常的な経費に費やされるため、使途の自由度がなくなり、市民の新しいニーズへの対応や投資的経費に充てる財源が少ない状態であることを示しています。一般的に経常収支比率は70～80%が望ましいとされています

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の推移



平成15年度と平成24年度を比較すると1.3%の増となっています。平成24年度は、全国都市平均の90.22を下回っていますが、対前年費においては3.2%の増となっています。

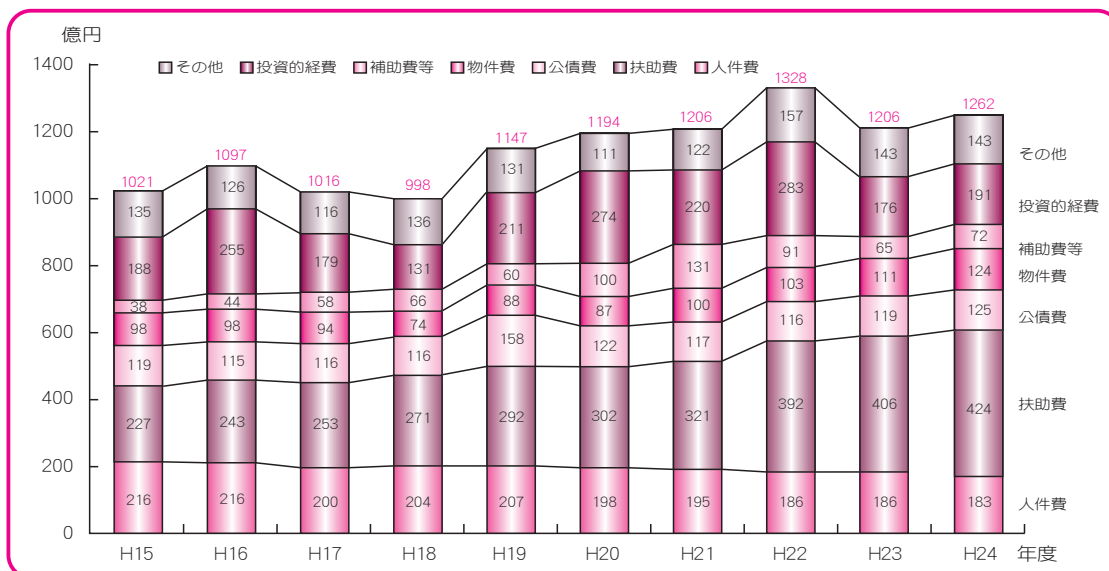
全国や
沖縄県内の
他の市とも
比べてみました



歳出(性質別歳出の推移)

◆歳出の性質別推移を見たのが次のグラフです。

人件費、扶助費及び公債費の義務的経費の占める割合は、平成24年度で58.0%と全支出の約5割を占めています。人件費は平成15年度と平成24年度を比較すると職員定数の見直しなどにより33億円減少しています。一方扶助費においては、増加傾向で推移しており、平成15年度と平成24年度を比較すると、実に197億円も増えています。

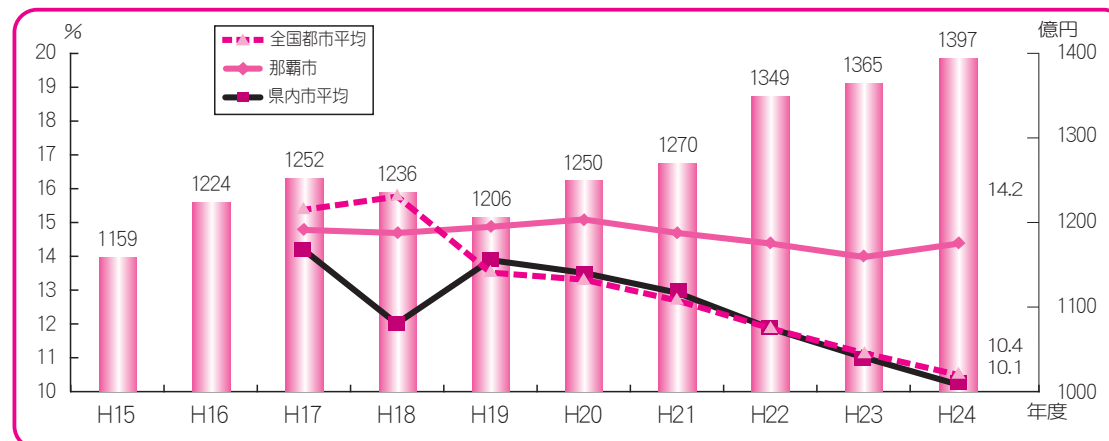


【実質公債費比率】

地方債を借り入れた際、毎年度元金の返済及び利子の支払いが必要となります。これに要する経費の総額を公債費といいます。この公債費と公営企業の公債費への一般会計繰出金の一般財源に占める割合を実質公債費比率といい、この比率が25%を超す団体は地方債を借り入れることが制限されます。

※実質公債費比率は、財政健全度を表す新たな指標として平成17年度から導入されました。

◆那覇市、県内市平均、全国都市平均の実質公債費比率及び那覇市の市債残高の推移



那覇市の実質公債費比率は、全国都市平均及び県内市平均と比較すると、依然として高めに推移しています。これは、未買収道路用地取得や学校借用校地購入等の特殊な事情により、借入額がかさみ、数値が高くなる一因となっています。

なるほど
なのニヤ!





地方行政とともに地域社会に貢献する

沖縄行政システム株式会社

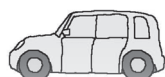
沖縄行政システム株式会社



NAHA AIRPORT BUILDING

那覇空港ビルディング株式会社

代表取締役社長 花城 順孝



なが〜い おつきあい



りゅうぎん

琉球銀行

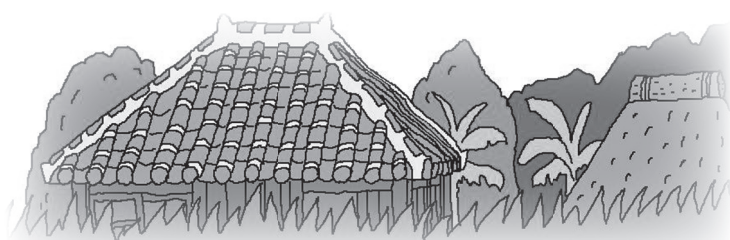
ようこそ パレットスカイガーデンへ



パレットくもじ

久茂地都市開発株式会社

ホームページ <http://www.palette-kumoji.co.jp>





本冊子についてのご意見をお待ちしております。

平成26年度 **なはしのよさんのはなし**

平成26年 7 月／発行：那覇市企画財務部財政課

〒900-8585 那覇市泉崎 1-1-1

TEL 098-862-9938 FAX 098-862-4268
